

編著者・執筆者紹介

(肩書は刊行時点)

【編著者】

一政 祐行 (いちまさ・すけゆき) …………… [序章、第4章、コーヒーブレイク、終章]

防衛研究所政策研究部サイバー安全保障研究室長

専門分野：軍備管理・軍縮・不拡散、安全保障論

国際基督教大学教養学部卒業、大阪大学大学院国際公共政策研究科博士前期・後期課程修了。博士号取得（国際公共政策、2007年）。在ウィーン国際機関日本政府代表部専門調査員、日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター研究員などを経て2010年に防衛研究所入所。平和・安全保障研究所安全保障奨学・研究プログラム14期フェロー、ケンブリッジ大学政治・国際関係学部客員研究員などを歴任。

〈主要業績〉

『検証可能な朝鮮半島非核化は実現できるか』（信山社、2020年、単著）；『核実験禁止の研究——核実験の戦略的含意と国際規範』（信山社、2018年。2019年度国際安全保障学会・第31回最優秀出版奨励賞〔佐伯喜一賞〕受賞、単著）；ジョセフ・M・シラキューサ（一政祐行訳）『外交史入門』（創元社、2023年）。学術論文として、『『冷戦2.0』と軍備管理』『安全保障戦略研究』第4巻第1号（2023年12月）；『『第2の核時代』論再考』『国際政治』第203号（2021年3月）など。

【執筆者】

栗田 真広 (くりた・まさひろ) …………… [第1章]

防衛研究所政策シミュレーション室 主任研究官

専門分野：核抑止、南アジアの安全保障

一橋大学社会学部卒業、同大学院法学研究科法学・国際関係専攻修士課程・博士課程修了。博士号取得（法学、2017年）。国立国会図書館調査及び立法考査局外交防衛課調査員を経て2015年に防衛研究所入所。

〈主要業績〉

「大国間競争下の南アジア——米中競争時代の到来と『対テロ戦争』の残滓」増田雅之編著『大国間競争の新常態』（インターブックス、2023年）；『核のリスクと地域紛争——インド・パキスタン紛争の危機と安定』（勁草書房、2018年、単著）。学術論文として、“China’s Kashmir Policy since the Mid-2010s: Ramifications of CPEC and India’s Kashmir Reorganization,” *Asian Security* 18, no. 1 (2022); “How Far Away from Non-

interference? A Case Study of China's Development Initiative in Pakistan," *Journal of Contemporary China* 31, no. 134 (2022) など。

本山 功 (もとやま・いさお) …… [コラム (第1章)]

防衛研究所政策研究部防衛政策研究室 研究員

専門分野：数理政治学、危機交渉（抑止・強要）

早稲田大学政治経済学部卒業、早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了。東京海上ディール研究員を経て2023年に防衛研究所入所。

大西 健 (おおにし・けん) …… [第2章]

防衛研究所政策研究部グローバル安全保障研究室 主任研究官

専門分野：強要・強制外交、平和作戦

立命館大学国際関係学部卒業、京都大学公共政策教育部専門職学位課程修了、リーズ大学政治・国際関係研究科博士課程修了。博士号取得（政治・国際関係、2021年）。2010年に防衛研究所入所。

〈主要業績〉

「既成事実化への対応策としての強要・強制外交——実績と失敗の原因」『安全保障戦略研究』第3巻第1号（2023年2月）；「平和作戦における軍事力行使——国連中央アフリカ多面的統合安定化ミッション（MINUSCA）」『安全保障戦略研究』第1巻第1号（2020年8月）；「平和作戦における強要——国連コンゴ民主共和国ミッション（MONUC）」『防衛研究所紀要』第22巻第1号（2019年11月）など。

前田 祐司 (まえだ・ゆうじ) …… [コラム (第2章)]

防衛研究所政策研究部防衛政策研究室 研究員

専門分野：国際政治理論、アジア太平洋地域の安全保障

慶應義塾大学法学部政治学科卒業、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス国際関係論修士課程修了。バージニア大学政治学部博士候補。2017年、防衛研究所入所。

〈主要業績〉

「大戦略の漂流——冷戦後アメリカの大戦略と対中政策」佐橋亮、鈴木一人編『バイデンのアメリカ——その世界観と外交』（東京大学出版会、2022年）；「地政学の再考——地政学と米国の台湾防衛コミットメント」『安全保障戦略研究』第1巻第2号（2020年10月）；アントゥリオ・エチェヴァリア（前田祐司訳）『軍事戦略入門』（創元社、2019年）など。

有江 浩一 (ありえ・こういち) …… [第3章]

防衛研究所理論研究部政治・法制研究室 所員（2等陸佐）

専門分野：核戦略・核抑止論

防衛大学校国際関係論卒業、同総合安全保障研究科国際安全保障コース修了。拓殖大学大学院国際協力学研究科博士後期課程修了。博士号取得（安全保障、2011年）。統合幕僚会議事務局、陸上自衛隊幹部学校（現：教育訓練研究本部）戦略教官、第1次イラク復興業務支援隊バスラ連絡幹部、防衛大学校防衛学教育学群准教授などを経て2014年に現職。

〈主要業績〉

「極超音速兵器をめぐる米中露の取り組み——核抑止・核軍備管理への含意」『安全保障戦略研究』第3巻第2号（2023年3月）；「アメリカの核指揮統制通信能力の近代化」『安全保障戦略研究』第2巻第2号（2022年3月）；“Complex Deterrence Theory and the Post-Cold War Security Environment,” *NIDS Journal of Defense and Security*, no. 17 (December 2016) など。

吉田 智聡 (よしだ・ともあき) …… [コラム (第4章)]

防衛研究所理論研究部社会・経済研究室 研究員

専門分野：中東地域研究（湾岸諸国およびイエメンの安全保障）、現代イエメン政治
大阪大学外国語学部外国語学科アラビア語専攻卒業、京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程（5年一貫制）退学、修士（地域研究）。株式会社大和総研研究員を経て2021年に防衛研究所入所。

〈主要業績〉

「イエメン・フシー派の海上戦力とその発展——国家性の追求手段としての海上戦力」『海幹校戦略研究』第13巻第1号（2023年6月）；「12月2日革命の失敗とイエメン国民抵抗軍の伸張——柔韌な生存戦略下での西海岸地域支配」『中東研究』第548号（2023年9月）；「カタル危機と湾岸地域における安全保障構造の変容——同盟の再編による戦略的状況の複雑化」『アラブ・イスラム研究』第18号（2020年）など。